

若年層献血者の確保について

栃木県での10代献血者確保に対する取組みについて

はじめに

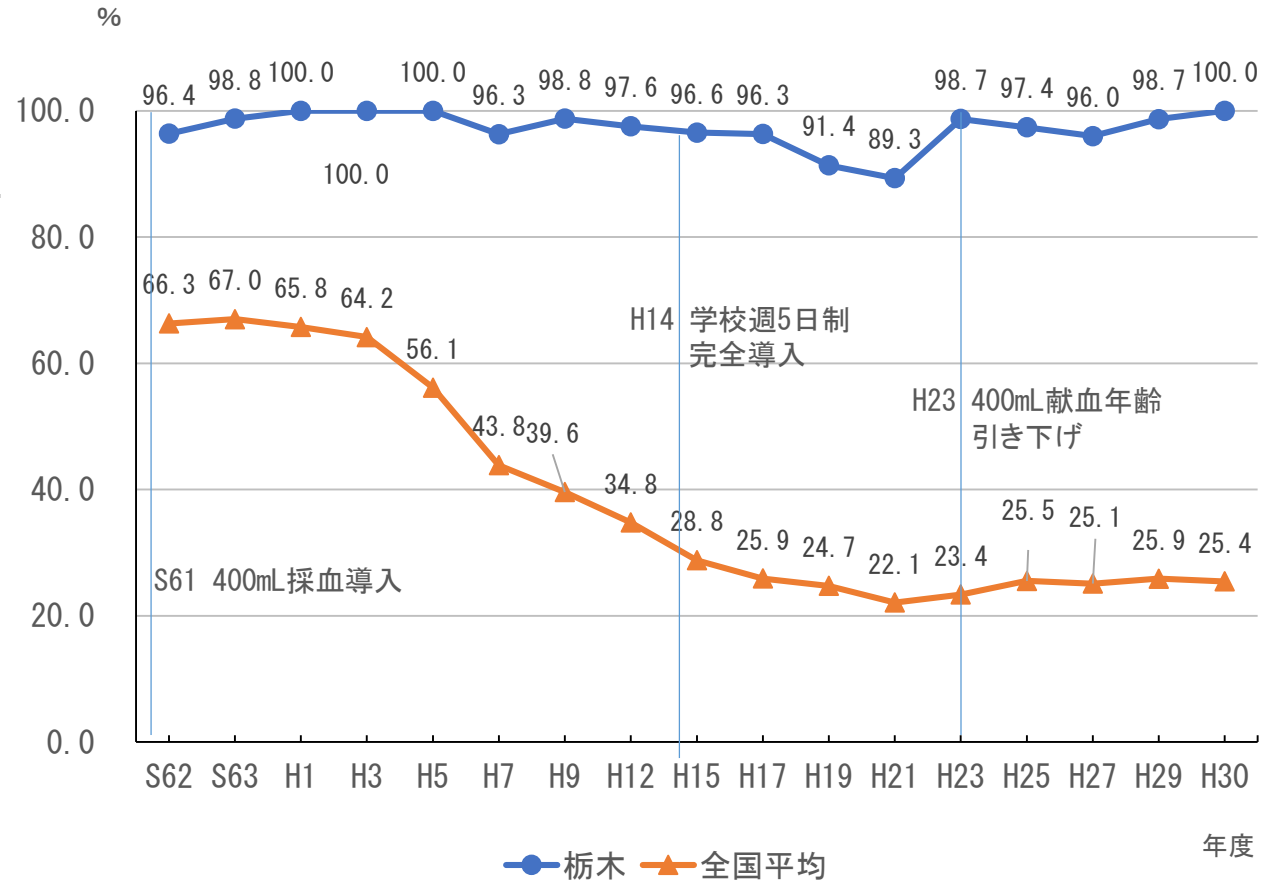
栃木県では、若年層特に10代献血者の協力が多く、その背景には、全国的にも高い水準にある学内献血の実施率に大きく起因している。毎年、9割以上の学校で学内献血を実施しているが、前年度は、新型コロナウイルスの影響による休校措置のため、3月に予定していた学内献血がすべて中止になってしまった。今年度も学校行事の変更等により、実施見送りの学校もあるが、1校でも多くの協力が得られるよう継続して調整を続けている

そのような中、本県の高等学校献血の実施状況と、協力率が高い宇都宮市内の県立高校における献血実施までの取組等について、参考までに紹介する。

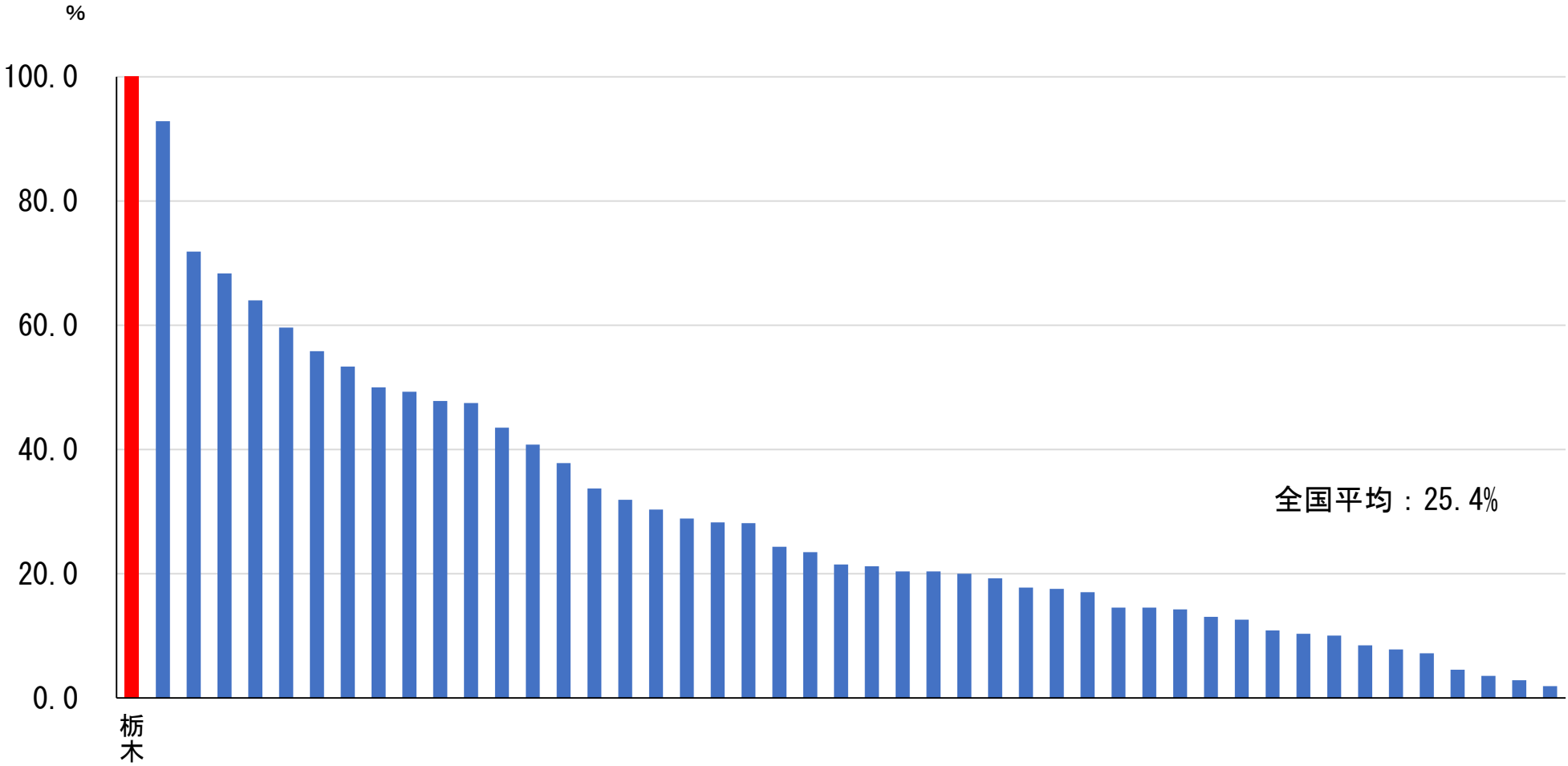
* 宇都宮市内県立高校：昭和55年開校 生徒数約960名の進学校

高等学校献血実施率の推移

- 全国の高等学校献血実施率は昭和63年度の67%をピークに減少し、平成6年度には、50%を下回った。その後も、緩やかに減少し続け、平成15年度以降は20%代で推移している。
- 昭和63年度の都道府県別実施率をみると、30都道府県で80%以上の実施率となっており、多くの都道府県で高等学校における献血が実施されていたことがわかる。
- 栃木県では、平成21年度に89.3%となったものの、それ以外の年度の全てで、90%以上の高い実施率となっている。

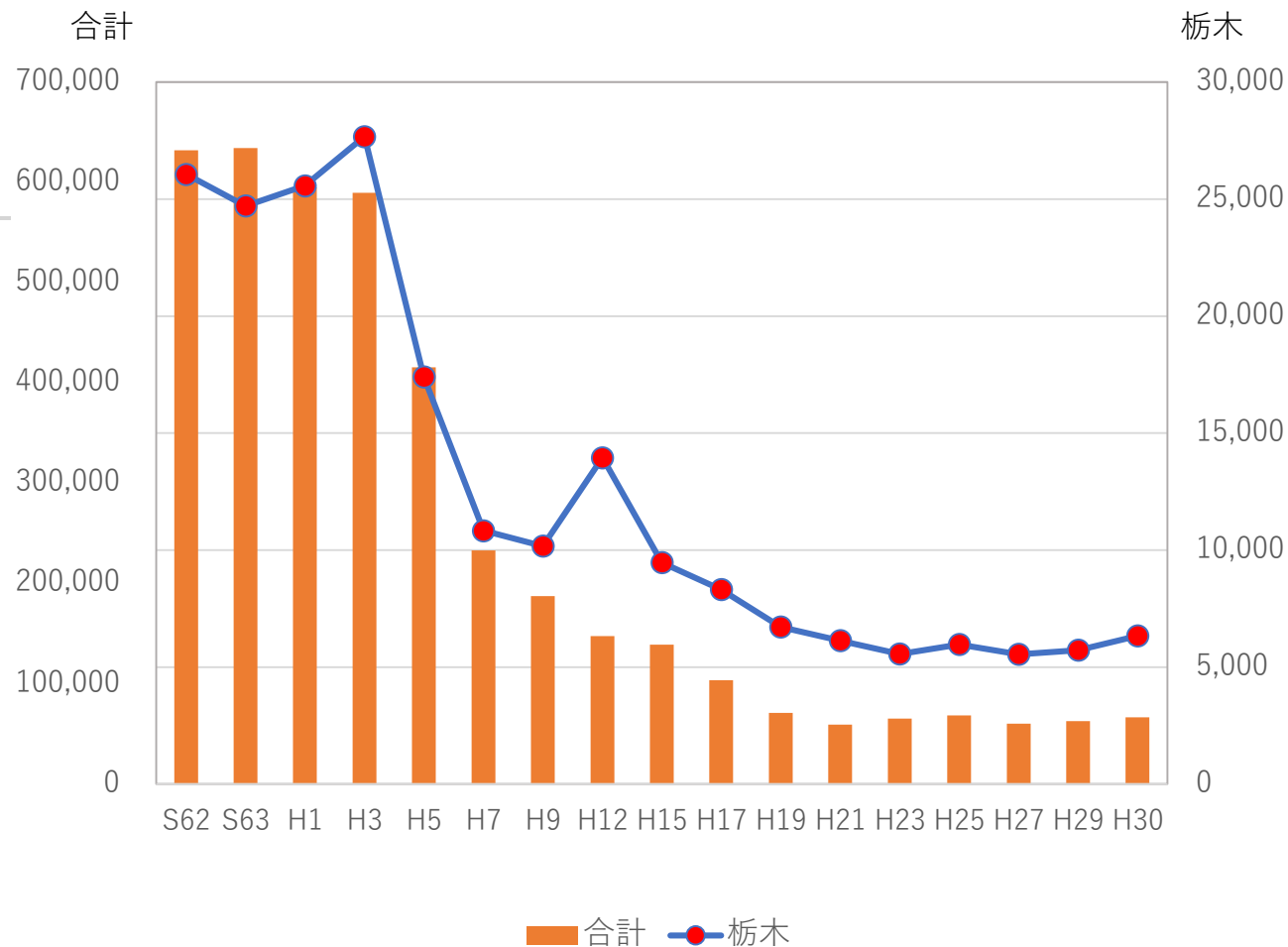


平成30年度都道府県別高等学校献血実施率



高等学校献血者数の推移

- 全国の高等学校献血者数は昭和63年度の634,096人をピークに減少し、平成6年度には、30万人を下回った。その後も、減少し続け、平成20年度以降は6万～7万人程度で推移し、ピーク時の10分の1程度となっている。
- 栃木県では、平成3年度までは、2万5千人程度であったが、その後減少し、平成27年度以降は5千5百人程度で推移し、ピーク時の5分の1程度となっている。

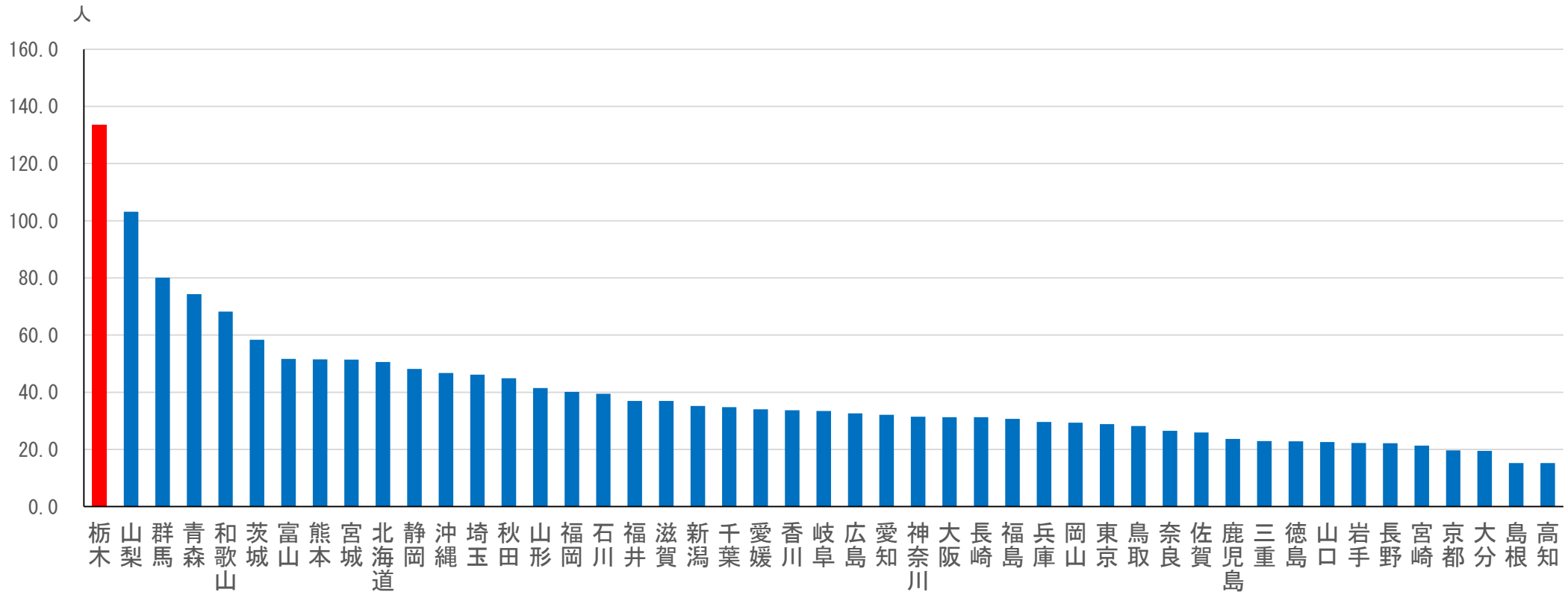


* 日本赤十字社データから (H4、H11、H13、H14年度は調査未実施)

令和元年度都道府県別高校生献血者数

(高校生1,000人当たり)

- 令和元年度の栃木県の高校生献血者数は6,979人で、全国第3位だった。
- 栃木県の高校生1,000人当たりの献血者数は133.7人で全国1位だった。

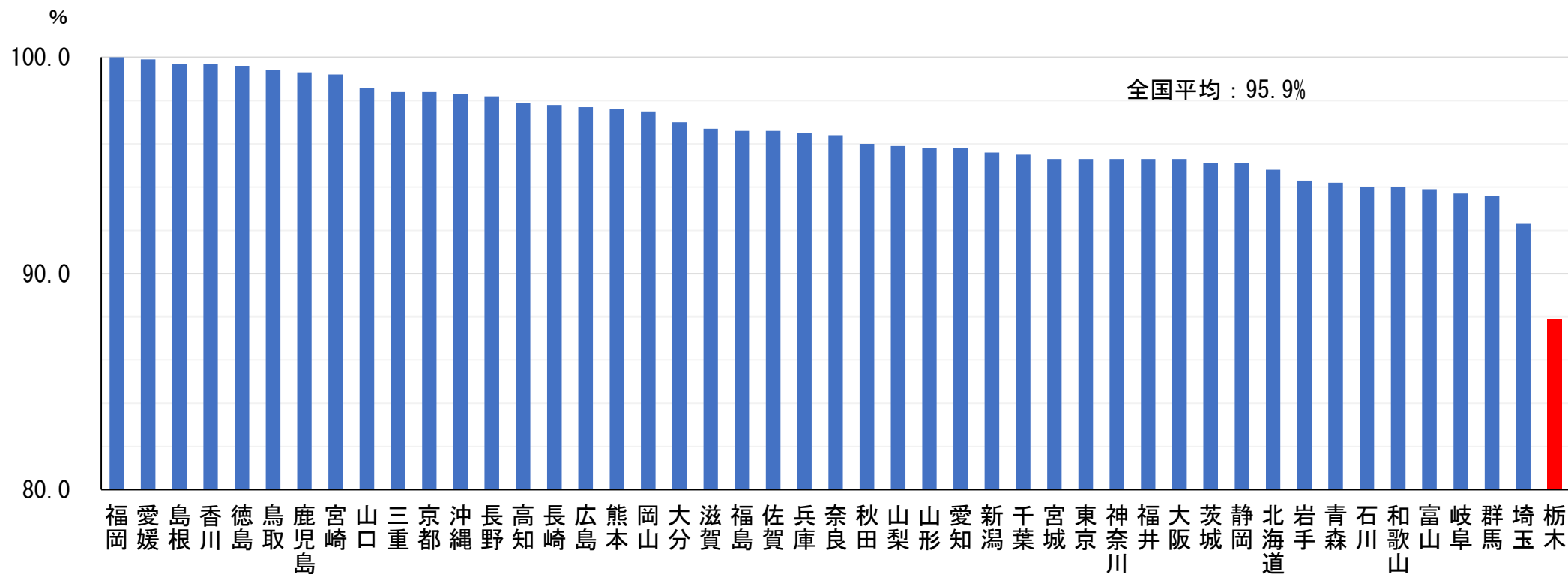


* 高校生献血者数は令和元年度血液事業年度報から(日本赤十字社血液事業本部)

* 高校生徒数は令和元年度学校基本調査から(文部科学省)

400mL献血実施率

- 栃木県では高校献血を若年層に対する啓発の意味でも重要視している。しかし、高校生では200mL献血しかできない生徒も多いため、400mL献血率は他都道府県に比較して低い。
- 高等学校以外の出張採血ではなるべく400mL献血に協力いただけるように対応している。



* 令和元年度血液事業年度報から（日本赤十字社血液事業本部）

献血セミナーの実施

2020年9月4日放課後

昨年度に引き続き、献血実施日前に、保健委員及び医療系進学希望者を対象にした「献血セミナー」を実施した。



広報用資材の作成

献血セミナー終了後、ポケットティッシュに差し込むため、一人一人が手書きで作成した。



広報活動の実施

with

栃木ご当地けんけつちゃん

+

高校マスコットキャラクター

同世代による声掛けが重要であるため、

保健委員・生徒会役員の協力を得ながら、朝登校した生徒に、ポケットティッシュを配布し、献血協力の呼びかけを行った。



実績

今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策として、分散実施した。

第1回 2020年 9月15日（火）

受付100名 200mL 45名 400mL 44名

第2回 2020年11月16日（月）

受付136名 200mL 92名 400mL 30名

《参考》

2019年11月11日 受付233名 200mL 123名 400mL 72名

2018年 9月10日 受付195名 200mL 98名 400mL 60名

- 高校献血を実施する際には、高校側担当者との連絡・調整が必要だが、高校側担当者は養護教諭である場合が多く、特に養護教諭との連携を密にすることが重要である。
- 栃木県では高校献血の全校実施を目標に取り組んでいるが、これまで継続的に高校献血を実施してきたことが、高校側の理解を得ることにつながっており、養護教諭等との調整もスムーズにできている。

栃木県学生献血推進連盟 「かけはし」の活動

県内の大学の献血推進サークルで結成したボランティアで、献血への理解を深め、積極的に献血の推進をするとともに、各大学との情報交換及び親睦を深めることを目的として活動しています。

○活動内容

- 定例会（月1回）
- 日々の街頭献血会場での広報活動や献血者・同伴者への接遇（おもてなし）
- 献血イベントの主催・企画運営



まとめ

少子高齢化が進み、献血人口が減少する中、若年層の確保は、今後、安定的輸血用血液を確保するためには、喫緊の課題である。

そのような中、栃木県では、「学内献血」について、学校行事の一つとして広く認識されており、学校全体で理解を得られている。

献血セミナーの実施等取組みは、様々であるが、今後、若年層確保対策、特に10代献血者の確保及び啓発啓蒙の場として、学内献血は、献血に触れ合う「きっかけ」であることは、間違いない。